

ILAC(国際試験所認定協力機構)総会等会議報告

I. 日程

- 10月14日 ILAC-PTCG(技能試験諮問会議)
- 10月15日 ILAC-AIC(認定委員会:認定における技術問題の討議)
ILAC-ARC(相互承認委員会:相互承認の政策面を審議)
- 10月16日 APLAC(アジア太平洋試験所認定協力機構)理事会
ILAC-LC(試験所委員会:国、または国際的な試験所団体を構成する委員会)
- 10月17日 ILAC-LC IAF(国際認定フォーラム:ILACの試験所に対して認証機関認定の国際機関)
-GHG-WG(温室効果ガス作業部会)
- 10月18日 ILAC 総会、相互承認評議会
- 10月19日 ILAC-IAF 合同総会
- 10月20日 ILAC 総会

ILAC 側には NITE の他に日本から JAB、VLAC が参加して計 8 名。IAF には経済省 JASC 室 JIPDECJAB の 9 名が参加した。全体としては 68 カ国 200 名を超える過去最大規模となり、米国からの参加が 50 名以上と突出していた。

II. 主要な議題と結論

1. ILAC組織関係(総会、相互承認評議会、IAFとの合同総会)

- 準メンバーが9(モーリシャス、ケニア、パプアニューギニア、旧ユーゴ4カ国:マケドニア:セルビア:ボスニア-ヘルツェゴビナ:モンテネグロ、米国から2)、準備メンバーが2増加(コロンビアとボツアナ)。相互承認署名の正メンバーは6増加(エジプト、ロシア、パキスタン、アラブ首長国連邦、ルーマニア、米国から各1)。また、試験所団体等の利害関係メンバーが2増加して1減。これでメンバー認定機関は87ヶ国の108機関、相互承認参加は51ヶ国の65機関となった。
- 昨年の加盟分担金値上げで財政は健全化の見通し。
- ILAC-IAF両議長(仏・独)から、2006年総会以来の審議案件であるILAC-IAF組織の将来像で、3つのオプション(1. 現状:いくつか合同委員会と合同総会、2. 相互承認政策審議委員会を統合、3. ILAC-IAF統合)のいずれかを選択する投票実施の提案があり、可決された。投票は各メンバー一票でILAC、IAFそれぞれで実施する。

2. ILAC相互承認政策関係(ARC、総会)

- 規制当局に評価を公開することについて、原則として評価を受ける認定機関の意向によることを確認した。米国 A2LA からは積極的に多くの認定機関も公開して欲しいとのコメントが出された。ARC-WG3 内にこの指針等について検討する TF を設置することとなった。
- G21(越境認定指針)は前回改訂時に相互に矛盾するコメントが多く(米国は独禁法の関係で緩和要求、欧州は厳格化要求)改訂を断念したままだが、年内に微修正版を送付してコメント投票することとなった。
- 公平性について相互承認内で詳細な基準を作るべきか議論がされたが、結論は出ておらず

継続審議となった。

3. ILAC認定技術関係(PTCG、AIC、LC、総会)

- 技能試験供給者認定の基準として作成中の ISO/IEC 17043 を用いることを再確認した。
- トレーサビリティ要求事項(ILAC-P10)と指針(ILAC-G2)は作成中であるがまだ最終ドラフトに至らず、WG で継続していく。
- 技能試験の参加頻度の要求事項(ILAC-P9)のドラフトは、主要な副分野(Major sub disciplines)ごとに4年に1回から、各認定機関が文書化した参加頻度にコンセプトを変更した。
- 作成中の不確かさガイド(CMC)はWG で継続していく。
- 遠隔校正認定のガイドは最終ドラフトをILAC コメントを行う。
- RMP 審査のガイドは現在ILAC コメント中である。
- 現在 ISO/IEC 17025 の見直し時期であるが、多くの認定機関は見直しせず、現行版を維持する意向。

4. その他のILAC 関係

- 今後の総会は、2010年10月20-29日に上海、2011年11月2-10日にバンコック、2012年リオデジャネイロにて開催予定。